

# 社会科学学習指導案（地理的分野）

学 級： 1年1組 37人  
場 所： 1年1組 教室  
指導者： 教諭 久保 長太郎

## 1 単元名 「北アメリカ州」

## 2 単元について

### (1) 教材観

本単元は、学習指導要領〔地理的分野〕2内容(1)「世界の様々な地域」ウ「世界の諸地域」の中項目を受けて構成した単元である。ここでは、世界の各州を対象として、それぞれの州内に暮らす人々の生活に関わり、かつ我が国の国土の認識を深める上で効果的な観点から州内の特色ある地理的事象を基に主題を設定し、その追究を通してそれぞれの州の地域的特色を理解させることが主なねらいとなっている。

前単元ではアフリカ州について学習し、特定の生産品に頼る生活からの変化について追究することでアフリカ州の地域的特色を理解させてきた。北アメリカ州の地域的特色を捉えさせるに当たっては「産業の発達」を主題として、単元の構成を行う。そして、特にアメリカ合衆国で各種産業が発達している理由について多面的・多角的に考察し、追究する活動を通して、地理的な見方や考え方の基礎を養い、北アメリカ州の地域的特色を理解させたい。

### (2) 生徒観

本学級の生徒は、教師の指示を素直に聞き、作業学習にも集中して取り組むことができている。また、新聞・ニュース等で報道されている時事問題に関する問いかけに対し、積極的に発言する生徒が多いことから、社会の学習（社会的事象）に高い関心を示している。また、アンケートによる調査から、社会科に「興味・関心を持っている」と答えた生徒が、37人中31人であったことから、学級全体で社会科の学習に積極的に取り組む雰囲気ができていると考えられる。

その一方で、社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や、資料を基に思考を深め、自分の考えを整理して記述したり、説明したりする能力が全ての生徒に十分身に付いているとは言えず、これらの能力を高めることについては課題が見られる。

また、平成28年度教研式NRT検査において、地理的分野における第1学年の正答率は全国が63.3%であるのに対し、本校は58.4%であり、全国よりも4.9%も低いことから地理的分野を苦手としている。これらのことから、特に地理的分野において社会的事象に対する生徒の興味・関心を高めるとともに、基礎的な知識を身に付けさせ、習得した知識を活用して社会的事象に対する思考力・判断力・表現力を育成していくことが、今後の教科指導の重点であると考えている。

### (3) 指導観

指導に当たっては、北アメリカ州の地理的事象を概観させながら、生徒の興味・関心を高め、基礎的・基本的な知識の定着を図りたい。

また、「産業の発達」を主題として地域的特色を捉えさせる過程において、産業が発達している理由を調査したり、調査した結果を発表させる活動を行ったりさせる。

更に単元の終末には、北アメリカ州で産業が盛んな背景や現状、課題について論述したり、意見交換させたりすることにより、思考力・判断力・表現力を育成していきたい。

### 3 単元の指導目標

- 北アメリカ州の地域的特色を理解させるために、「産業の発達」という学習テーマを設定し、意欲的に追究させる。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 「産業の発達」という学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察させながら、その成果を様々な手法で表現させる。 【社会的な思考・判断・表現】
- 北アメリカ州に関する統計資料の分析、雨温図・主題図・写真の読み取りや比較、関連付けなどの地理的技能を身に付けさせる。 【資料活用の技能】
- 地球儀や地図帳などを活用させながら、北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について理解させる。 【社会的事象についての知識・理解】

### 4 単元の指導計画

#### (1) 評価規準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 社会的事象についての知識・理解
① 北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特にアメリカ合衆国の産業に関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究している。 ② 日本にも広がるショッピングセンターやファストフード、身の回りに多く見られる輸入品など、世界に広がるアメリカ文化に関心を持っている。	① 北アメリカ州、特にアメリカ合衆国の産業が発達している理由について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ② 北アメリカ州の産業が発達している様子を、アメリカ合衆国の農業や工業、生活・文化の観点から考察している。	① 北アメリカ州、特にアメリカ合衆国の大規模で合理的な農業の特色や、巨大な工業生産力の様子について、主題図や写真などのさまざまな資料を収集している。 ② 収集した資料から、北アメリカ州の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり図表などにまとめている。	① 北アメリカ州について、大陸と島々からなる自然環境、新しい文化、産業と経済の地域差などの特色を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。 ② 北アメリカ州について、アメリカ合衆国を中心とした「産業の発達」の学習テーマを基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

#### (2) 指導と評価の計画

時間	指導内容	評価規準
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北アメリカ州の自然、文化、産業の特色について、雨温図、分布図、写真などの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。</li> <li>・ 北アメリカ州の地域的特色を理解させるために、特に、アメリカ合衆国に注目しながら「北アメリカでは、なぜさまざまな産業が盛んなのでしょうか」という学習テーマを立て、意欲的に追究させる。</li> </ul>	エー① アー①
2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アメリカ合衆国の大規模で合理的な農業の特色を、写真、グラフ、分布図などから読み取らせる。</li> <li>・ アメリカ合衆国が多様な農産物を大量に生産できる理由を、気候、生産方法、経営者のそれぞれの視点から考察させる。</li> </ul>	ウー② イー①
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アメリカ合衆国で発展してきた重工業や先端技術を用いた工業の特色を、写真、グラフ、分布図などから読み取らせる。</li> <li>・ アメリカ合衆国の工業は、広大な国土と豊かな資源に加えて、ヨーロッパ州やアジア州からの移民の存在によって発展してきたことを理解させる。</li> </ul>	ウー① エー①
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アメリカ合衆国の生活・文化が、世界の国々に与えている影響について関心を持たせる。</li> <li>・ 北アメリカ州の人々の生活について、人口構成や経済の視点から、地域的特色を考察させる。</li> </ul>	アー② イー②
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図や写真、主題図などの資料から、北アメリカ州の学習について振り返り、整理させる。</li> <li>・ 「なぜ、北アメリカでは、さまざまな産業が盛んなのでしょうか」という学習テーマの答えを、アメリカ合衆国に注目させながら、農業と工業を中心に考察させる。</li> </ul>	エー② イー②

## 5 本時の実際（2／5）

### (1) 題材名 広大な国土と工業化した農業

### (2) 学習目標

- アメリカ合衆国の大規模で合理的な農業の特色を、写真、グラフ、分布図などから読み取ることができる。
- アメリカ合衆国が農産物を大量に生産できる理由を、自然条件に応じた農産物の生産と企業による農業の工業化のそれぞれの視点から考察し、その結果を適切に表現できる。
- アメリカ合衆国の農業が世界の農産物の生産に与える影響について、プラスとマイナスのそれぞれの視点で、資料を基に論述できる。

### (3) 「判断基準」の設定

学習課題：アメリカ合衆国が、農産物を大量に生産できるのはなぜか。

評価規準	○ アメリカ合衆国が多様な農産物を大量に生産できる理由を、気候、生産方法、経営者のそれぞれの視点から考察し、その結果を適切に表現できる。
評価の場面	○ 終末時における課題解決場面（まとめ）
評価の対象	○ 学習課題に対して生徒がまとめた内容
判断の要素	○ アメリカ合衆国が農産物を大量に生産できる理由
判断基準B	<p>アメリカ合衆国が自然条件に応じた適地適作と農業の工業化により、農産物を大量に生産できることについて資料を基に考察し、その結果を述べている。</p> <p>【予想される生徒の表現例】</p> <p>アメリカ合衆国は、広大な土地を生かし、その土地に合った作物を生産する適地適作と大企業による大型機械の導入やバイオテクノロジーによる品種改良などにより、農産物を大量に生産できる。</p>
判断基準A	<p>(判断基準Bに加えて)</p> <p>○ アメリカ合衆国の農業が世界の農産物の生産に与える影響について、プラスとマイナスのそれぞれの視点で、資料を基に論述している。</p>

### (4) 主体的・協働的な学びのための指導法

#### ア 学習課題設定の工夫

課題把握の段階で、アメリカ合衆国の農業に関する資料を提示し、既習事項との比較や関連付けさせることを通して、生徒の課題追究意欲を高めるような学習課題を設定する。更に、展開時において、生徒により深い思考を促す学習課題を設定する。

#### イ 積極的に交流・探究させる手立ての工夫

##### (7) 思考を引き出させるワークシートの作成

思考力・判断力・表現力を高めるために、習得した知識や技能の活用を促すワークシートの作成を行う。具体的には、アメリカ合衆国が農産物を大量に生産できる根拠となる資料を基に知識を習得させた後に、アメリカ合衆国の農業が世界の農産物の生産にどのような影響を与えているかプラスとマイナスの2つの視点から資料を基に考察させ、その結果を表現させる。

##### (4) 学習課題を主体的・協働的に追究させる場の設定

習得した知識を実生活と関連付けて考察させる。具体的には、アメリカ合衆国の農業が自分達の生活に与える影響について、農産物の生産の視点から主体的・協働的に考えさせ、学習課題を追究・解決させる。

##### (6) 「判断基準」に基づいた、学びの変容の見取り

協働的な対話・議論の場を判断基準Bの到達に向けて支援し、更に判断基準Aへの深い学びに変容させることで、主体的・協働的に課題を解決させる。

(5) 展開

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	主体的・協働的な学びのための指導法
導入	3分	一斉	<p>1 資料を基に、本時の学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>アメリカ合衆国が、農産物を大量に生産できるのはなぜか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用して資料を提示し、学習課題への追究意欲を高めさせる。</li> </ul>	<p>ア</p> <p>アメリカ合衆国の農業に関する資料を提示し、既習事項と比較させながら学習課題を設定する。</p>
展開	10分	ペア	<p>2 アメリカ合衆国の農業の特色について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適地適作を行っていること</li> <li>大型の機械や施設による農業が行われていること</li> <li>企業的な農業が行われていること</li> <li>メキシコ系の農業労働者がいること</li> <li>バイオテクノロジーにより新種の種子を創ったり生産量を増やしたりしていること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や資料を基に、アメリカ合衆国の農業についてまとめさせる。</li> <li>ICTを活用して、農産物を大量に生産できる理由を考えさせる。 【補充指導】</li> </ul>	
	20分 7分	グループ	<p>3 アメリカ合衆国の農業が世界の農産物の生産に与える影響について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>アメリカ合衆国の農業は、世界の農産物の生産にどのような影響を与えているか。</p> </div> <p>4 アメリカ合衆国の農業が世界の農産物の生産に与える影響についてグループごとに発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習得した知識・技能を活用して、アメリカ合衆国の農業が世界の農産物の生産に与える影響について考えさせる。 【深化指導】</li> </ul>	<p>イー(ア)</p> <p>習得した知識・技能を生かして、思考を深められるようにワークシートを工夫する。</p> <p>イー(イ)</p> <p>習得した知識を実生活と関連付けて、農産物の生産の視点から思考・判断させる。</p>
終末	10分	個・一斉	<p>5 学習課題に対するまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>アメリカ合衆国は、広大な土地を生かし、その土地に合った作物を生産する適地適作と大企業による大型機械の導入やバイオテクノロジーによる品種改良などにより、農産物を大量に生産できる。</p> </div> <p>アメリカ合衆国の農業は、企業的な農業における大型機械の利用やバイオテクノロジーなどにより、多くの国で農産物を大量に生産できることを可能にしている。一方で、アメリカ製の農薬や遺伝子組み換え種子が多くの国で使用されることで、アメリカに依存した農産物の生産になることが考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人で考えた後、全体でまとめを行う。</li> </ul>	<p>イー(ウ)</p> <p>アメリカ合衆国が農産物を大量に生産できる理由をまとめさせる。</p>